点検・評価の結果

政府統計コード	00500217	
基幹・一般の別(選択記入)	基幹統計調査	
調査の名称	木材統計調査（基礎）	
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	○	重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
		国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
		月例経済報告に利用
	○	基幹統計の作成に利用
	○	基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	○	その他（「森林・林業基本法」（昭和39年７月９日制定）に基づく「森林・林業基本計画」（令和３年６月15日決定）の策定等に利用する「木材需給表」において、木材需給・供給量として利用）
特記事項		

①　調査計画との整合性確保等の観点

調査計画との整合性 （整合している場合チェック）	☑ 1.調査の目的 ☑ 2.調査対象の範囲※ ☑ 3.報告者数等※　（報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等） ☑ 4.報告事項とその基準期日※　（報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間） ☑ 5.報告の方法※　（報告を求めるために用いる方法） ☑ 6.報告を求める期間※ ☐ 7.集計事項※ ☐ 8.結果の公表方法及び期日※　（調査結果の公表の方法及び期日） ☑ 9.使用する統計基準 ☑ 10.調査票情報の保存　（調査票情報の保存期間及び保存責任者） ☑ 11.立入検査　（基幹統計調査のみ）	一部不整合あり

（注１）「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

（注２）不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討（予定）している事項がある場合はシート②で記載

点検･評価事項等 ＼ 不整合の項目	調査計画との整合性 不整合の概要 （該当項目に○を入力し、概要を記載。複数選択可能）	不整合が生じている場合の対応状況 対応方法 （複数選択可能）	対応状況 （選択記入）	左記対応の概要（自由記入）
7. 集計事項※	○ 未集計 復元推計 　 未公表 その他 特記事項（○をつけた項目の概要を記載してください） 調査票の中に、審査には利用するものの集計していない調査項目があり、その取扱いを調査計画に記載していなかった。	○ 調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備充実 実施方法の見直し その他	対応中/対応予定	次回の総務省申請時に調査計画を変更し、「集計しない事項」として記載予定。
8. 調査結果の公表の方法及び期日※	○ 公表実施時期 e-Statの掲載 その他 　 公表媒体 閲覧表 特記事項（○をつけた項目の概要を記載してください） 基礎調査結果の審査の際、推計係数の一部に誤りが判明し、全体の調査結果の確認に時間を要したことから公表が遅延した。（新たな公表日は農林水産省ホームページに掲載）	調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備充実 実施方法の見直し ○ その他	対応済	集計前に推計係数に誤りが無いかの確認を徹底するとともに、表間チェックの効率化を図る。また、次回の申請に向けて、利活用上支障がなければ公表期日の変更についても検討する。

②　統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の 整備・共有の状況 及び 実際の業務の実施状況 の確認等	☑ 課題なし □ 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む） □ その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）

③　必要な精度の確保・向上の観点

	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 （自由記入。別紙も可）		
	精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択（複数選択可）	目安としている指標の具体的な設定内容・考え方等 （自由記入。別紙も可）	目安としている指標の設定時期 （自由記入）	今回調査 （又は前回調査）	前回調査 （又は前々回調査）	前々回調査 （又は前々前回調査）
１ 調査の実施目的を確保するための精度管理の実施状況	○ 達成精度 回収率・回答率 回収調査票数 ○ カバレッジ その他 ○ 設定なし	（基礎調査） 都道府県別（集成材生産量は全国）に各指標項目の生産量等の８割をカバーする調査対象数とし、有効回答率は右記のとおり。 なお、製材工場、合単板工場、木材チップ工場及び集成材工場について、指標項目に対する目標精度は定めていないが、それぞれの指標項目に対する実績精度は右記のとおり。 CLT工場及びLVL工場については、全数調査のため実績精度を算出していない。 （製材月別調査） 目標精度（全国） 2.3% （合単板月別調査） ・合単板月別調査は、都道府県別に単板製造用素材入荷量、普通合板生産量、特殊合板生産量の85%をカバーするよう調査対象数を算出。回収率の目標は設定していない。	（基礎調査及び合単板月別調査） 目安としている指標は設定していない。 （製材月別調査） 平成17年調査	令和５年 （基礎調査） ＜有効回答率＞ ・製材工場 97.5% ・合単板工場 79.3% ・木材チップ工場 100.0% ・集成材工場 100.0% ・LVL工場 86.7% ・CLT工場 100.0% ＜実績精度＞ ・製材用素材消費量 0.6% ・単板製造用素材入荷量 3.1% ・製材品出荷量 0.9% ・普通合板生産量 2.7% ・特殊合板生産量 3.0% ・木材チップ生産量 1.6% ・集成材生産量 1.4% （製材月別調査） ＜実績精度＞ 1.3～2.0% （合単板月別調査） ＜有効回答率＞ 97.5～100.0%	令和４年 （基礎調査） ＜有効回答率＞ ・製材工場 91.7% ・合単板工場 89.0% ・木材チップ工場 99.5% ・集成材工場 100.0% ・LVL工場 85.7% ・CLT工場 69.2% ＜実績精度＞ ・製材用素材消費量 0.5% ・単板製造用素材入荷量 2.3% ・製材品出荷量 0.8% ・普通合板生産量 1.3% ・特殊合板生産量 1.4% ・木材チップ生産量 1.6% ・集成材生産量 1.8% （製材月別調査） ＜実績精度＞ 1.8～2.6% （合単板月別調査） ＜有効回答率＞ 85.5～93.4%	令和３年 （基礎調査） ＜有効回答率＞ ・製材工場 87.4% ・合単板工場 81.0% ・木材チップ工場 98.5% ・集成材工場 94.9% ・LVL工場 100.0% ・CLT工場 100.0% ＜実績精度＞ ・製材用素材消費量 0.5% ・単板製造用素材入荷量 2.8% ・製材品出荷量 0.8% ・普通合板生産量 1.1% ・特殊合板生産量 2.4% ・木材チップ生産量 3.9% ・集成材生産量 3.4% （製材月別調査） ＜実績精度＞ 1.6～2.7% （合単板月別調査） ＜有効回答率＞ 100%